二編下

二編上

二編上

よそほひ源氏
胡蝶乃夢 二篇上

種彦著
国貞画

紅英堂梓

菊ハ花の隠逸なるものなり。此故に盛久し。是彼細く長くとふ諺に相協へり。此草紙も一旦の場當りを強て好まず。永く發行よ售よとて。画様文章其御色も實を主とし華を容とし。浮カブキの筆を憚り徐々と著始つまべ用ふ人物最鮮く。同し山家の段のごとく二帙あり溢る。上ゆも本編の結ゆへ。母子二人ふ成さるへ細いも程の有ものと。自己あがらう感心しそろ不案しあまべ織糸ふ。許多の見物引寄る。
蝶々つらひの格ゆへ世ちそで。柳も同し糸あぐら。
三編四編と出販ま。其間を忘らずあれあらしふ雲顧さるを繫ぐそぐりの。書留ざまいと拙しと。問屋の小言ふ聞耳つぶしこへ蝶々の譚もれ若蝶々しくめそ榮しのよ。贔屓あかへ夢見とそ幸福あま下らんまそし。御與のさかぬを只顧冀へり。

文久四年新春刊行
柳亭種彦

木津
六條三位助田
鹿背山原小山城泉河
渡守瓶平の女登利

かせ山
法花寺村
足利通詮卿息女
花園姫

笠置寺
大和田
浮人 星影輝次郎
笠置山の嬌賊 雲霧

高尾
忠直老入
廣沼肥後掾
忠教

義野湯治場

柳亭種彦作 梅蝶樓國貞画

御免 疝積湯

御用藥所

せんきの妙薬

信州上田 東山堂製

六十四銅

包 三十二銅

本家

實母散

さんぜんさんごちのみち一切の妙藥

中橋南傳馬町 一丁目東かハ

喜谷[illegible]製

新局九尾傳

當年之内 爲永春水作

自初編至五編 梅蝶樓國貞画

初篇ハ鎌倉の管領持氏朝臣那須野に狩倉を催され妖婦玉藻前を[illegible]

三篇ハ結城氏朝千葉貞胤等五面の妖怪あらはれ[illegible]

其[illegible]より黒氣立昇り九尾の狐の出現[illegible]

編中にて尾性の兇雄一個生[illegible]篇五篇も引續て出板[illegible]べし

二編下

柳亭[illegible]作
[illegible]蝶楼[illegible]畫

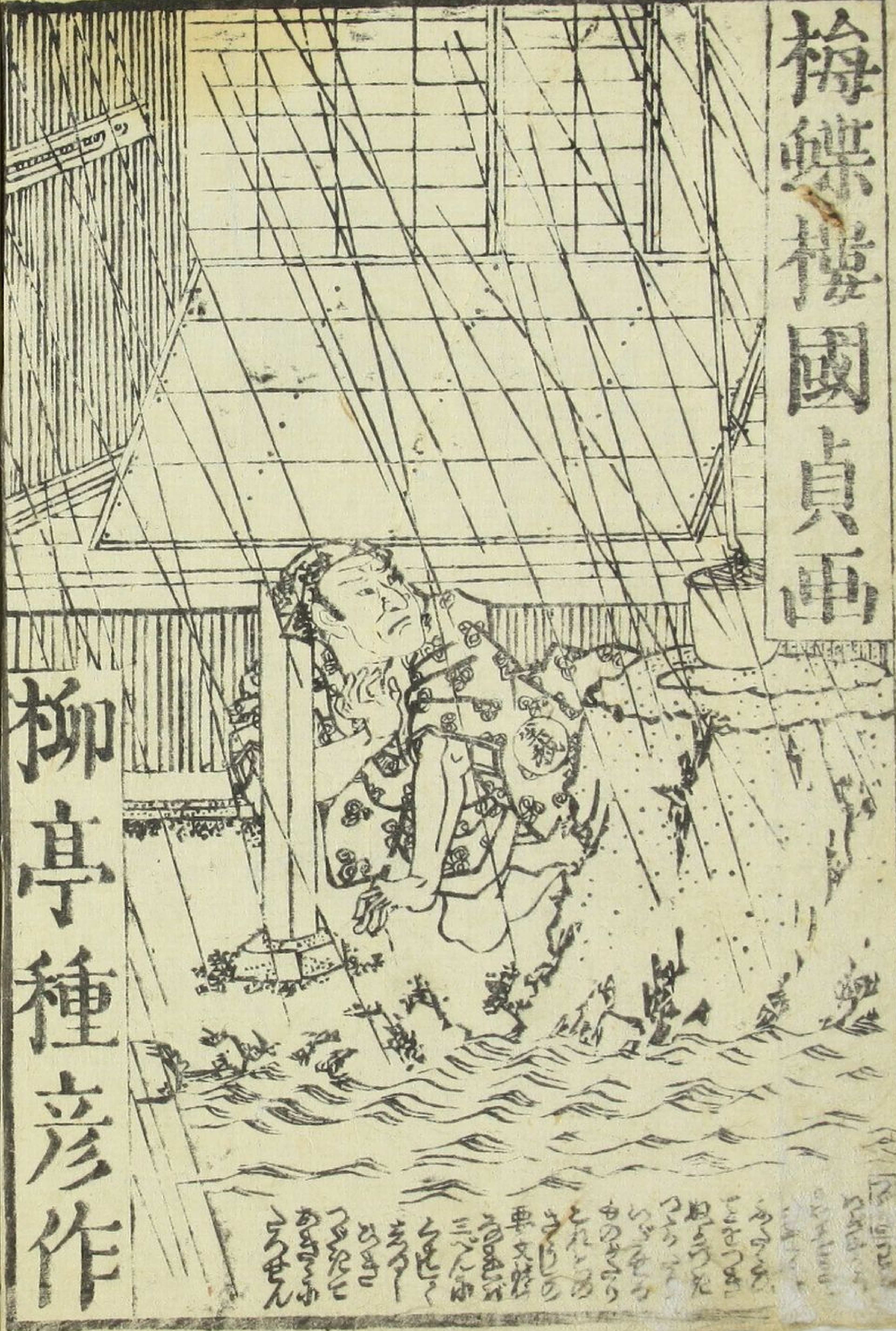
[illegible]
二[illegible]

[illegible]堂文庫

九曜文庫
[illegible]

以下三丁ハ半兵衛と
千代が其身の物語

如在
若
早



慶應二年丙寅陽春開板標目

七ふしぎ葛飾譚 五編より八編まで 柳亭種彦作 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶巻 八編 九編 十編 種彦作 國貞画

[illegible]情談[illegible] 四編 大尾 如泉作 國貞画

童謡妙々車 廿編 廿一編 廿二編 種彦作 國貞画

薄俤幻日記 十五編 十六編 十七編 春水作 國貞画

筆海四國聞書 [illegible]編 種彦作 國貞画

明鴉墨画廼裲襠 [illegible]編 種彦作 國貞画

花封笑寿書 [illegible]編 種彦作 國貞画

八犬傳犬の草紙 [illegible]編 柳亭録 國貞画

地本双紙問屋 鳥屋吉蔵板